

令和六年度 東北高等学校 入学試験問題 一般A日程

国

語

解答注意
問題は全部で三十四問あります。
解答シートへの記入例
①の答えが2のときには
① ↓
2
と記入します。

数字の記入例

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

○印の部分を注意してください。

一 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

〔卓志はトランポリン競技の選手だったが、引退を決めていた。この日、卓志はアルバイト先の先輩の大友とレストランで食事をしていた。〕

しばらくして、大友の前に、デラックスハンバーグとパンとサラダが並べられた。
大友がサラダを突きながら言う。「えっと、なんだっけ。体①ソウだっけ？ やってたつていうの？」
「トランポリンです」

「そうだ、そうだ。そう言つてたつけね。トランポリンかあ。トランポリンは、オリンピック、あるの？」

「ありますよ。個人競技だけですけど。男子と女子が」

「へえ。個人競技だけっていうことは、ほかの種目とか、あるの？」

「団体とか、シンクロとか、ほかにもいくつか競技があります。でも、オリンピックでは、個人競技だけしか認めて貰えてなくて」

「そうなんだあ」大友が呟いた。「オリンピックつていつても、知らない競技つて結構あるよな。もつといろんな競技を中心②ケイしてくれたら、いいんだよな。そうしたら、こっちもルールとか覚えるんだよ。①結果だけ、だだだつて読み上げられて終わりなんて、競技もあるだろ？ そんなんじや、興味もてないって」

卓志は頷いた。

大友が続ける。「やつぱり、皆、オリンピックが目標なの？」

②首を捻る。「違う選手もいるかもしれませんけど。まあ、やつぱり、オリンピックへの出場が、まずは目標になるんじゃないですかね」

「世界大会とか、そういうのは、もつとあるんでしょ？ 年に一度とか」

「ありますね」

「それじゃ、ダメなのかな？ やつぱり、四年に一度のオリンピックの価値は高くなるつてことなのかな？」

「世界大会なんかだと、有力選手が出場してこないってこと、結構あるんですよ。怪我とかなんかで。だから、そこで一番になつたとしても、真の王者になつたつて感じを味わえないんです。それが、オリンピックだと、各国の全選手が、そこにピークをもつてくるように調整して臨んできますから、舞台としては、最高レベルになるんです。勿論、有力選手が怪我で出場しないつていうのは、オリンピックにだつて、あるつちや、あるんですけど。まあ、全体として、最高レベルの戦いの場にはなつてているんですよ。もし、そこで、一位になれたたら、真の王者になれたつてことなる。そんな風に思つてるからじゃないですかね、選手たちは」

「そこで勝てば、真の王者になれる？」

「はい」

③胸の中④で、なにかが飛び跳ねた。
それが、どんどん熱を帯びていく。
と、それが燃え出した。
火柱が立つ。

ああ……やっぱり、そうか。そういうことだな。
卓志は自分の心の奥底にあるものを、しつかりと理解した。

大友が千切つたパンを、ハンバーグソースに浸す。「引退を決めた時つて、凄い辛い決断だつたでしょ」

卓志は真っ直ぐ大友を見つめた。

大友は少し慌てた様子で「あつ。ちょっと、悪いこと、言つちやつたかな？」と早口で言つて、パンを飲み込んだ。

「先輩」

「なに？ 気に障つた？」

「いえ」両手を膝の上に置いた。「引退を決めたつもりでした。だから、就職活動をしました。こちらに雇つてもらえることになつて、バイトもさせて貰つて、すごく感①シャしてます。でも、⑤なんか、胸に穴が開いている感じで。今の仕事に不満があるとか、そういうことじゃないんです。自分の中で、踏ん切りがついてないせいです。自分の問題です。今、自分の気持ちの底にあつたものを、覗き込んだら、最高の舞台で勝負したいつて気持ちが蠢いてました。個人競技の最高の舞台には立てませんでしたが、シンクロ競技の最高の舞台を目指することにします。来年のワールドゲームズに挑戦します」

問四

傍線部②「首を捻る」とあります、このときの卓志の様子として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。（解答は⑦の欄）

- 1 オリンピックは眞の王者を決める大会なので、王者の資格がない選手には出場をあきらめてほしいと思っている。
- 2 オリンピックを目標にしていない選手がいることを、自分は信じられないことだと考えあぐねている。
- 3 オリンピックを目標にしていない選手が多いとは思うが、そうではない選手もいるだろうと考えている。
- 4 オリンピックに出場できなければ、世界大会への参加を目標にすればいいと、こだわりをもつていてない。
- 5 オリンピックを目標にしている選手が多いとは思うが、そうではない選手もいるだろうと考えている。

問五

傍線部③「胸の中で、なにかが飛び跳ねた」とありますが、卓志のどんな様子を表現していますか。適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。（解答は⑧の欄）

- 1 ワールドゲームズへの参加という決断が急速に揺らぎ始めたということ。
- 2 ワールドゲームズへの参加を目指すという可能性を急速に考え始めたということ。
- 3 ワールドゲームズではなくオリンピックへの参加の気持ちが強まつたということ。
- 4 ワールドゲームズへ参加したいという気持ちが少しづつ芽生え始めたということ。
- 5 ワールドゲームズへの参加を考えてもよかつたなど強く後悔したということ。

問六

傍線部④「あつ。ちょっと、悪いこと、言っちゃったかな？」とありますが、このように大友が言つた理由として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 卓志の引退はまだ先なのに、うつかりして、引退の決断のことをこの場の話題にしてしまったから。
- 2 卓志が引退について語りたがらないことはわかつていたのに、うつかりして口に出してしまったから。
- 3 引退を決めた卓志の気持ちを考えずにしてしまった発言に対し、卓志の気迫に満ちた視線を感じたから。
- 4 引退という言葉への卓志の反応を目の前で見て、決断に至る卓志の苦悩の深さが強く伝わってきたから。
- 5 卓志の反応から、引退についてこの場で話題にすることは避けたいという卓志の気持ちを感じたから。

問七

傍線部⑤「なんか、胸に穴が開いている感じ」とありますが、卓志がこのような思いを持つていた理由として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。（解答は⑨の欄）

- 1 トランポリン競技を引退することを決めたことで、トランポリンに対する自分の情熱の弱さを感じたから。
- 2 トランポリン競技を引退することで、それまで張りつめていた気持ちから解放され、肩の荷がおりたから。
- 3 トランポリン競技を引退することを決めたが、力を出し尽くしていないような気分が残り続けていたから。
- 4 トランポリン競技から引退しても、トランポリンの練習は続けていこうと思うようになっていたから。
- 5 トランポリン競技でオリンピックに出場する前に、トランポリンを引退することになったのが悔しかつたから。

問八

□ II に当てはまる適當な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 断念
- 2 決断
- 3 反論
- 4 後悔
- 5 安心

（解答は⑪の欄）

問九 傍線部⑥「先輩、賭け、しませんか？」とありますが、この部分を朗読するとしたらどのように読むとよいですか。次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 落ち着きながらも、自分の挑戦への気持ちが揺るがないようにしていることがわかるように、力を込めて読む。
- 2 大友が変に気を使っていることに気づいて、場を和ませようとしていることがわかるように、冗談めかして読む。
- 3 自分の挑戦は無謀であると気づいているが、後に引けなくなっている様子がわかるように、重苦しい様子で読む。
- 4 自分の発言を冗談と思っている大友に、強く言い聞かせていることがわかるように、区切りながら読む。
- 5 自分の急な宣言に対して、あせっている大友を落ち着かせようとしていることがわかるように、ゆっくりと読む。

（解答は⑫の欄）

問十 本文の表現の特徴として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑬の欄)

- 1 人物の強い気持ちを表すときには体言止めを効果的に用いたりして人物の心情の変化を表現している。
- 2 人物の内面の気持ちを心の中の言葉として表現することで、相手に対する気持ちの深さを表現している。
- 3 現在の場面に回想の場面をはさみこむことで、人物の関係の変化をわかりやすく表現している。
- 4 会話を多用して内容をテンポよく進行させて、人物の心情や様子の変化で場面に活気を生じさせている。
- 5 情景の変化とともに、少しずつ成長していく人物の様子を、叙情的にしみじみと表現している。

二 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

子どものころ、私は空を飛べないのに鳥が自由に飛んでいくのは、どこかで魔法がはたらいているからだろうと^①思っていた。魔法使いは空を飛ぶのだから。自分なりになんとか飛べる原因を探り、絵本の中で出会った魔法使いにはそれを求めたのである。小学校も高学年になると、広げた羽を空気が押し上げる浮力の存在を知り、中学に入つて力学を勉強してからはそれを説明する数式になるほどと思った。

さらには、鳥と飛行機の同じところ、違うところがわかり、法則がおもしろくなってきたのである。子どものころに魔法の力がとても魅力的だったのと同じように。こうして、子ども時代の魔法はだんだん数式や化学式に変わつていき、納^①得のいく世界ができるがつていった。これが科学であり、こうして世界をわかっていく喜びは、子どものころのふしぎを楽しむ気持ちと私の中でつながつていて。ふしぎへの気持ちを失わないためにも科学を嫌わないでほしい。

「科学」を辞書で引くと「^{*}体系的であり、経験的に実証可能な知識。狭義では物理学、化学、生物学などの自然科学」(『廣辞苑』)とある。前述したように、まず物事にはすべて原因があると考えるところから始まり、それを説明していくのが科学というわけだが、^②子どものときの魔法での説明との違いは、実証可能であることである。別の表現をするなら「理性」に信頼を置くということである。

「理性」は、今回与えられたテーマである「感性」によく対置される。そこで通常は、理性に基づく知である科学は感性とは無関係とされる。しかし私はそう考えてはいない。子どものころのふしぎとのつながりから話を始めたのは、自然を知ろうとするなら理性だけではその像を的確にとらえることがむずかしく、どうしても感性を必要とするというところへ話を進めるつもりだからである。

おとなになるにつれてふしぎを楽しむのは倦^あき足らず、理性に基づいて因果関係を知る科学に関心が向くのと同じように、人間の歴史を見ても、最初は解けなかつたふしぎを因果で説明するようになつていく過程が見られる。歴史の始まりには、どこかにふしぎな力があると考え、山や森や動物との間のやりとりを語る民話などの物語をつくつていた人類が、^③科学という知によつて自然の物語を描きはじめるのである。

(中略)

一六八七年に出版されたニュートンの『プリンキピア(自然哲学の数学的諸原理)』で提出された万有引力の法則は、りんごの落下から天体の運動までを語る科学のみごとさを示した。以来、^{*}デカルトによる機械論、^{*}ベーコンによる自然操作の考え方を背景に、理性による科学の世界が確立してきたのである。ここでの自然観は機械論、決定論であり、まさにとてもわかりやすい世界を描いている。^(a) キヤツ観的であること、別の言葉を用いるなら個人的な価値観が入らない普遍性をもつことである。実はこれは問題がある。本論のテーマである感性は主観的であるわけで、それと対極の性質をもつとされることになるからである。これでは、科学は感性とはつながりようもないとする他ない。このような狭い見方など

めることは、決して科学にとつてプラスにならないだけではなく、⁽⁴⁾ それでは自然の理解にならないことがわかりつつある。

科学には価値観が入らないという考え方の問題点を指^(b) テキしている人として、科学哲学者のマイケル・ポランニーをあげることができる。彼は、科学といえども人間の営みである以上、まったく何の価値観も入らないことはあり得ないとする。確かに天動説に対し、理性をはたらかせた地動説はより普遍性をもちはするが、世界を観る目はやはり人間のものであると言うのである。科学の世界で暮らす者なら、日常の自分たちの営みがすべてマニュアル化の方向に進められることなどあり得ず、それを行なう人間によつてそれぞれ異なることを知つている。そして、当然ながら人間には理性とともに感性があり、それがともにはたらいてこそ、知的な成果が得られるのだといふこともわかつてゐる。成果には再現性は保証されなければならないが、科学研究において感性がはたらくことを否定する必要はない。

さらに言うなら、私たちは科学としての事実を認めたうえで、日常は感性をはたらかせている。II それは大切なことなのである。早い話が、今でも私たちは朝日は東から昇り、夕日は西に沈むと言つ。私は今、京都と東京の一重生活をしており、京都の家からは東山から昇つてくる朝日が見える。こう簡^(c) タンに言つてしまつては正しくない。私は通常六時ごろ目覚めるので、夏はすでに陽が昇つてしまつており、冬はまだ外は暗い。陽が昇るのは春と秋である。とくに春は、それまでは暗かつた朝が少しづつ明るくなつてくる喜びがあり、このときの朝日には千^(d) キンの価値がある。⁽⁵⁾ まさに「春は曙^(あさひ)。やうやう白くなりゆく山際^(やまざき)」なのである。

古地図を調べたら、私の暮らすマンションがほほ、かつての平安京内裏の清涼殿の位置にあるというおまけまでつき、一〇〇〇年という時間を超えて同じ景色を眺める喜びを味わつてゐる。一方東京では、富士山に沈む夕日が美しい。陽が落ちるとともに夕焼けの空の中にくつきりと浮かびあがるシルエットの富士のみどしさは、いつ見ても感激する。⁽⁶⁾ このときの気持ちはまぎれもなく天動説の中にいる。地球が太陽の回りをまわつているのだなどと理屈をこねていたら、この感激は消えてしまう。もちろん理性による理解が感性によつて消えてしまふことはないことをつけ加えておく。

（中村桂子『かわる 生命誌から見た人間社会』より）

※ 体系的 個々の物事が一つのまとまりの中に組み込まれてゐること。

※ デカルト フランスの哲学者。

※ ベークン イギリスの哲学者。

問一 傍線部①から④のカタカナの部分に当てはまる漢字を、次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

- Ⓐ ↓ 1 隔 2 各 3 却 4 脚 5 客
Ⓑ ↓ 1 笛 2 適 3 敵 4 的 5 摘
Ⓒ ↓ 1 单 2 短 3 端 4 淡 5 嘆
Ⓓ ↓ 1 均 2 勤 3 近 4 金 5 筋

問二 傍線部I「得」の部首と組み合わせて一つの漢字になる語を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 土 2 本 3 月 4 寺 5 力

問三 II に当てはまる適当な言葉を、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 したがつて
2 たとえば
3 あるいは
4 しかも
5 ところで

（解答は⑯の欄）

問四 傍線部①「思つていた」とあります、筆者が子どものころの思い出を取り上げた理由として適当なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 子どものころに科学に興味がなくとも、大人になつて科学に興味をもつ事例もあることを具体的に示したかったから。
2 自然を知るには理性だけではその像を的確にとらえにくく、感性が必要になるということへ話を進めるつもりだつたから。
3 子どものころにふしぎに思つていたことでも、大人になると科学の法則によつて解明できることを伝えたかったから。
4 子どものころにふしぎな経験をたくさんしておると、大人になつて科学に関心を持つようになると伝えたかったから。
5 子どものころにふしぎと思つたことを、大人になつて解明すると味気ないのでそのままにしておくべきだと言いたかったから。

（解答は⑰の欄）

問五

傍線部②「子どものときの魔法」とあります。筆者は子どものときの魔法を、どのようなものと説明していますか。適当なものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 理性の領域に属する経験であり、因果関係にしばられている。

- 2 感性の領域に属する経験であり、因果関係にはしばられていません。

- 3 感性の領域に属する経験だが、数式や化学式の理解が進む経験でもあった。

- 4 科学を嫌っている子どもよりも科学を好む子どもが経験する確率が高かつた。

- 5 経験的に実証可能な経験であり、理性に信頼を置いた経験だと言える。

問六

傍線部③「科学という知によって自然の物語を描きはじめるのである」とありますが、どういうことですか。適當なものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 科学という理性によつて、自然の起こす事象を因果関係をもつて説明するようになつてきたということ。

- 2 科学という理性に基づいた因果関係に合うように、民話などの物語を修正しはじめるということ。

- 3 科学を重視するようになり、知によつて解釈できる自然の物語にしか関心が向かなくなるということ。

- 4 科学という知をもつても理解できないことがあると知り、自然を尊重しはじめるということ。

- 5 理性だけでは自然をとらえられないと知り、理性に基づかない自然の物語を描きはじめるということ。

問七

傍線部④「それでは自然の理解にならないことがわかりつつある」とありますが、どんなことがわかりつつあるのですか。適當なものを、
次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 理性を基盤とする科学は、機械論や決定論という自然観を有するのが必然であり、その論を理解する必要があるということ。

- 2 自然を理解するためには、感性の働きに重点を置くことが大切で、理性は理解の邪魔になることが多いということ。

- 3 自然を理解するためには、感性を無縁とするのではなく、科学には感性とのつながりも必要だということ。

- 4 自然を理解するためには、個人の価値観が入らないことが大切であり、何の価値観も入らないことが理想だということ。

- 5 自然を観るのは人間なので、普遍的なものの見方で自然を理解することが必要という認識が強まりはじめているということ。

問八

傍線部⑤「まさに『春は曙。やうやう白くなりゆく山際』なのである」とありますが、この表現の説明として適當なものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑧の欄)

- 1 『枕草子』の有名な一節を引用して、現代とは大きく異なる平安京の優雅さをしのんでいる。
- 2 『枕草子』の一節を引用して、筆者が一〇〇〇年前と同じ情景の中にいることを述べている。
- 3 『枕草子』の一節を引用して、今と一〇〇〇年前の日本人の価値観を対比しようとしている。
- 4 『枕草子』の一節を引用して、一〇〇〇年前とは自然の情景が大きく変化したことを述べている。
- 5 『枕草子』の味わい深い一節を引用して、古典に親しむことの重要性を強く主張している。

問九

傍線部⑥「このときの気持ちはまぎれもなく天動説の中にいる」とありますが、筆者の考え方として適當なものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑨の欄)

- 1 富士山に沈む夕日の美しさは、富士山を中心とした天動説を用いると説明しやすくなるということ。
 - 2 富士山に沈む夕日の美しさを説明するには、天動説による説明のほうがうまくいくということ。
 - 3 富士山に沈む美しい夕日は、地動説の正しさを疑わせ、理性の判断に支障をきたすということ。
 - 4 富士山に沈む夕日を美しいと思うのは、感性だけでなく理性の領域で情景を見るからということ。
 - 5 富士山に沈む夕日を見ているときには、理性ではなく感性の領域で情景を見ているということ。
- 本文の内容と合っているものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑩の欄)

- 1 おとなになるとふしぎを楽しむことよりも、理性に基づいて因果関係を知ることに関心が向くようになり、科学の話題が主流になる。
- 2 科学としての事実を認めたらしく、ふだんは感性をはたらかせているが、感性によつて理性の理解が消えてしまうことはない。
- 3 京都と東京の二重生活をしていると、日常の生活で感性と理性を使い分けながら生活することが必要だということを強く認識する。
- 4 科学には価値観が入らないことが理想だが、自然の美しい情景は、個人の価値観に基づく感性をはたらかせるので、必然的に普遍性をもつことを困難にさせる。
- 5 個人的な価値観を入れないという狭い見方は、自然を理解することにしか役立たないので、科学の有効利用とは縁がなくなってしまう。

問十

傍線部⑦「このときの気持ちはまぎれもなく天動説の中にいる」とあります。筆者の考え方として適當なものを、次の
中から一つ選び、番号で答えなさい。

(解答は⑪の欄)

- 1 おとなになるとふしぎを楽しむことよりも、理性に基づいて因果関係を知ることに関心が向くようになり、科学の話題が主流になる。
- 2 科学としての事実を認めたらしく、ふだんは感性をはたらかせているが、感性によつて理性の理解が消えてしまうことはない。
- 3 京都と東京の二重生活をしていると、日常の生活で感性と理性を使い分けながら生活することが必要だということを強く認識する。
- 4 科学には価値観が入らないことが理想だが、自然の美しい情景は、個人の価値観に基づく感性をはたらかせるので、必然的に普遍性をもつことを困難にさせる。
- 5 個人的な価値観を入れないという狭い見方は、自然を理解することにしか役立たないので、科学の有効利用とは縁がなくなってしまう。

三 次の古文とその現代語訳を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

これも今は昔、土佐判官代通清といふ者ありけり。歌を詠み、^①源氏、狭衣などをうかべ、花の下、月の前と好き歩きけり。^(ア)かかる好者なれば、後徳大寺左大臣、「^{*}大内の花見んするに、必ず」といざなはれければ、通清、めでたき事にあひたりと思ひて、やがて破車に乗りて行く程に、^②跡より車二つ三つばかりして人の来れば、疑ひなきこの左大臣の^③おはすると思ひて、尻の簾をかき上げて、「^{*}あなたて、うたて、^(イ)とくとくおはせ」と、^④扇を開いて招きけり。はやう^④関白殿の物へおはしますなりけり。招くを見て、御供の^{*}隨身、馬を走らせて駆け寄せて、車の尻の簾を^⑤かり落してけり。その時ぞ通清あわて騒ぎて、前より転び落ちける程に、^{*}鳥帽子落ちにけり。いといと不便なりけりとか。

（『宇治拾遺物語』より）

〔現代語訳〕 これも今は昔、土佐判官代通清という者がいた。歌を詠み、源氏、狭衣などをうかべ、花の下、月の前と好き歩き回った。^{かかる}好者なれば、後徳大寺左大臣が、「大内（仁和寺）の花見をするが、必ずまいれ」とお誘いになつたので、通清はうれしいことにお会つたと思って、すぐにおんぼろな車に乗つて出かけると、^{跡より車二つ三つばかりして人の来れば}、疑いなくこの左大臣がおいでになると思つて、後ろの簾を上げて、「ああ、ひどい、ひどい、^{とくとくおはせ}」と、^{扇を開いて招きけり}。ところが実は^{関白殿の物へおはしますなりけり}。通清が招くを見て、お供の随身が馬を走らせて駆け寄り、車の後ろの簾を切り落とした。その時になつて通清はあわてふためき、前から転げ落ちたので、鳥帽子が落ちてしまつた。實に具合の悪いことであつたとか。

※大内

仁和寺。^{にんじや}

※あなたて

ああ、ひどい。

※隨身

関白などの身辺を警護する役人。

※鳥帽子

元服した男性がかぶる帽子。

問一 傍線部（ア）・（イ）の文中での意味として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- （ア）かかる好者なれば
— 1 このように風流のわかるものだつたので
2 このように風流を解さなかつたので
3 このように風流を嫌つていたので
4 昔から風流とは縁がなかつたので
- （イ）とくとくおはせ
— 1 急がなくともだいじょうぶです
2 早くお帰りなさい
3 気をつけておいでください
4 早くいらっしゃい

（解答は²⁷の欄）

問二 傍線部（ア）「おはすると思ひて」を現代仮名遣いに直し平仮名で表したものとして適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 おはするとおもいて
2 おわするとおもひて
3 おわするとおもひて
4 おわするとおもうて

（解答は²⁸の欄）

問三 傍線部（ア）「源氏、狭衣などをうかべ」とありますのが、この部分の説明として適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 源氏物語や狭衣物語を気に入つて暗唱していた。
2 源氏物語と狭衣物語のどちらが優れていたかを検討していた。
3 源氏物語よりも狭衣物語を気に入つていた。
4 源氏物語も狭衣物語も評価していなかった。

（解答は²⁹の欄）

問四 傍線部②「跡より車二つ三つばかりして人の来れば」とありますが、通清は、このときどんな様子でしたか。適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 一緒に同じ花見に行くのだから、あせらずにのんびりと目的地まで行けばいいと、泰然としている。
- 2 花見に行く左大臣の行動が機敏なので、自分も早く行動しなければならないと思って、あせっている。
- 3 花見に行く左大臣の行動が遅いので、早く行動するようにと、せき立てる気持ちになっている。
- 4 左大臣が花見の場所が分からずに迷っていると思って、その場所を左大臣に教えようと思っている。

(解答は③の欄)

問五 傍線部③「扇を開いて招きけり」とありますが、通清のどんな様子が分かりますか。適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 花見の場所が分からなくなつたので、左大臣に教えてもらおうと思っている。
- 2 花見での作法が分からず、事前に左大臣から学ぼうとしている。
- 3 花見は楽しみだが、左大臣との同席をいやだと思っている。
- 4 花見に行くことがうれしくて、調子に乗った行動をしている。

(解答は②の欄)

問六 傍線部④「関白殿の物へおはしますなりけり」とありますが、どういうことを述べていますか。適當なものを、次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 関白殿が通清に追いついたので、とても喜んだということ。
- 2 関白殿が通清におくれをとつたので、あわてていたということ。
- 3 関白殿が花見での一番乗りを目指していたということ。
- 4 関白殿がある場所に向かっているところだったということ。

(解答は③の欄)

問七 傍線部⑤「かり落してけり」の主語を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 左大臣
- 2 随身
- 3 通清
- 4 関白殿

(解答は④の欄)

令和6年度

東北高等学校 国語一般A 解答シート

氏名

受験番号

一

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ |
| . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . |

二

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ |
| . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . | . |

三

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㉗ | ㉘ | ㉙ | ㉚ | ㉛ | ㉜ | ㉝ | ㉞ |
| . | . | . | . | . | . | . | . |

令和6年度

東北高等学校 国語一般A 解答シート

解 答

氏名

受験番号

一

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ |
| 5 | 2 | 1 | 3 | 4 | 2 | 5 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 4 |

二

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ |
| 5 | 5 | 1 | 4 | 4 | 4 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 5 | 2 |

三

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ㉗ | ㉘ | ㉙ | ㉚ | ㉛ | ㉜ | ㉝ | ㉞ |
| 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 4 | 4 | 2 |